

木のあふる暮らし

田辺市の総面積のうち、約88% (908km²) は森林です。森林は環境を守り、土砂災害を防ぐなどの役割に加え、木材などの資源としても私たちの生活を支えてくれる存在です。この大切な森林環境を未来へつないでいくために、今、私たちに何ができるのでしょうか。

森林のやくわり



森には私たちの生活を支える様々な役割があります。

1 温暖化を防ぐ

森林の植物は太陽などの光エネルギーを使い、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収します。

2 土砂災害を防ぐ

地中に張り巡らされている木の根が、雨による土の流出を防ぎます。

3 洪水を防ぐ

森林の落ち葉などが生物によってふかふかのスポンジのような土になり、雨水をためこみます。

4 動物の住みかになる

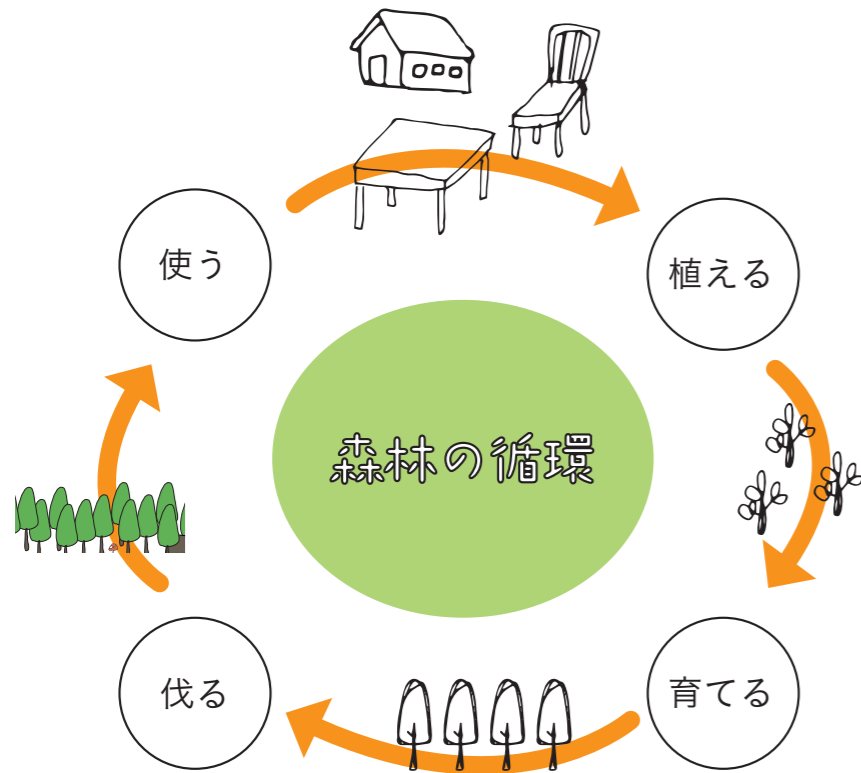
森林は動物が生活するために必要なえさや住みかになり、豊かな生態系が保たれます。

5 海を豊かにする

森林は河川を通じて海につながっており、落ち葉などが分解されて作られた栄養分や有機物が海に供給されます。

森林を守るために「循環」が大切

森林は、適切な管理が必要です。成長した木を伐り、木材として活用する、そしてまた新しく木を植え、育てる。50〜100年ほどかけて行われる、この循環があるからこそ、豊かな森林環境が保たれます。



ところが…… 森林は様々な課題を抱えています

木材価格の低迷

木材価格は、木材の需要の低迷や、価格の安い輸入材との競合により、長期的に下落しています。

適切な管理が行われていない森林の増加

森林所有者が近隣に居住していないなど、適切な管理が行えない状態の森林が増えています。

森林への関心の低下

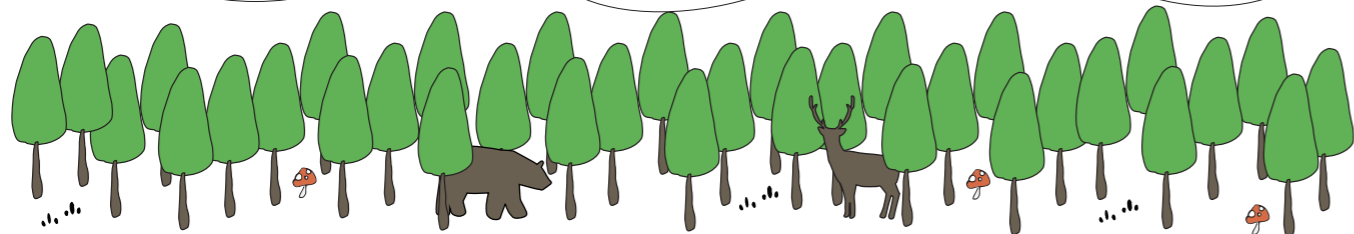
森林が普段の私たちの生活になじみがなくなってきたことで、森林への関心が低下しています。

林業の担い手不足

林業の担い手不足や、林業従事者の高齢化が進んでおり、適切な森林の管理が難しくなっています。

鳥獣害被害の増加

シカやクマ等の野生鳥獣による木の皮や枝葉の食害が深刻で、木の成長が妨げられています。





西牟婁森林組合
とじや
真砂 俊哉さん

森林整備と人材育成で
林業を守る

組合では、現場作業員の育成のため、森林経営管理制度に基づいて間伐等の事業を優先的に配分してもらう制度を活用しています。
現場では、2～3人で班を組んで、植栽や草刈り、間伐などの作業をしており、先輩は若手作業員に指導をしています。

この制度で管理を任された森林は、長く手入れがされておらず、細い木が多いです。そのため、例えば間伐の作業では、細い木より太い木を伐る方が経験や技術が必要ですが、細い木が多いので若手作業員にとって経験を積むのに良い場となっています。

人の手が入らない森林は、土砂災害防止や水をためるなどの機能が低下してしまうおそれがありますので、森林整備をしつつ、人材育成もできるこの制度は本当にありがたいです。



若手作業員が間伐をしている様子

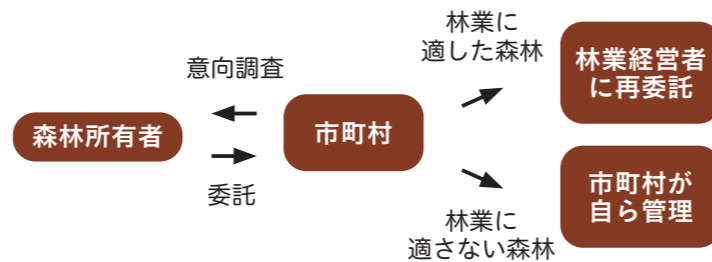
森林環境譲与税は 何に使われている？

田辺市での森林環境譲与税の活用事例を
一部ご紹介します

森林整備のための「森林経営管理制度」

森林が持つ多くの機能を生かすためには、森林の手入れが必要ですが、森林所有者自らが森林の手入れができない場合に、その経営や管理を市町村に任せられます。

田辺市では、令和4年度までに、216件の委託を受けており、間伐などの森林管理を順次進めています。



林業従事者の育成

林業事業者に対して、森林の手入れを行う現場作業員の人材確保・育成のため、森林経営管理制度に基づく間伐等の事業を優先的に配分しています。



木材の活用

昨年、竣工した本宮小学校は木造建築であり、小中学校の教室の床や机などを木製のものに変えています。このような取組は、子どもの学習環境の向上だけでなく、木の素晴らしさを感じてもらい狙いもあります。

本宮小学校の教室▶



森林と私たちの暮らしを守るために

森林環境税の課税が始まります

森林をめぐる様々な課題を解決していくための新たな財源として「森林環境税」が創設され、令和6年度から課税が始まります。

森林環境税は、国民一人につき年間1,000円を国税として徴収し、国から各市町村、都道府県に「森林環境譲与税」として配分されていきます。

課税に先立ち、森林環境譲与税の配分は、令和元年度から始まっています。令和5年度は、森林環境譲与税の配分額が、横浜市、浜松市、大阪市に次いで、田辺市が全国で4番目となりました。配分額は、私有林

全国で4番目の
配分額！

森林環境譲与税の配分額
(市町村別) 令和5年度

- 1位 横浜市(神奈川県)
- 2位 浜松市(静岡県)
- 3位 大阪市
- 4位 **田辺市**

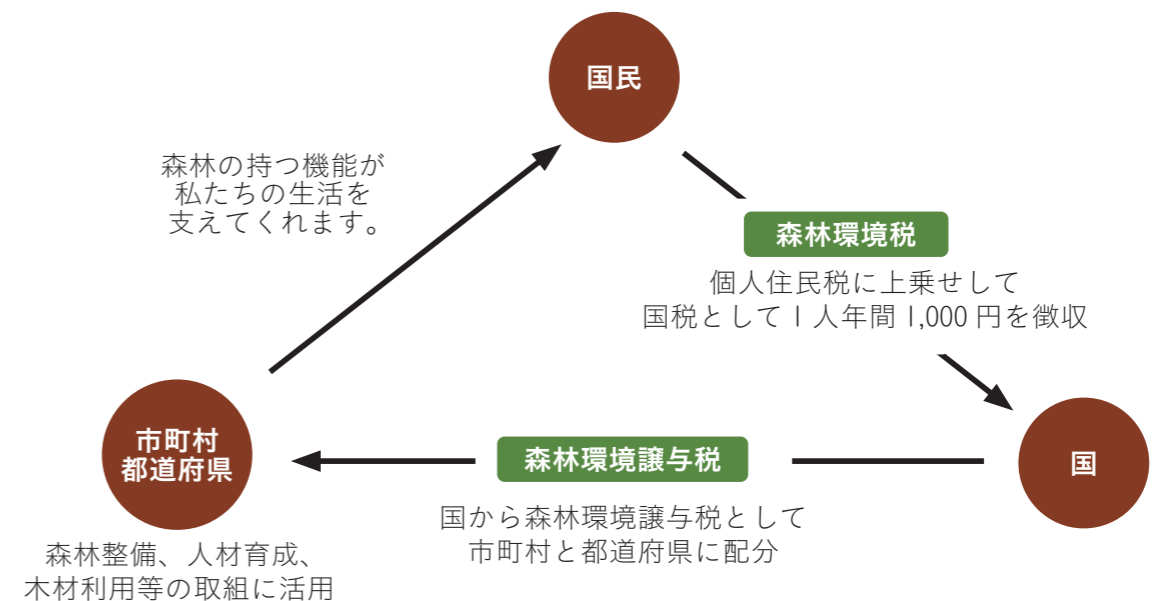


▲森づくり構想について

人工林面積・林業就業者数・人口の割合によって割り振られており、田辺市は森林面積が大きいため、このような結果となっています。
田辺市では、森林環境譲与税の効果的な活用をするために、森林環境だけでなく、山村や林業の振興も含めた指針として「森づくり構想」を策定して取り組んでいます。

森林環境税・森林環境譲与税の仕組み

森林環境譲与税は、森林経営管理制度をはじめとする森林整備やその促進のための取組に活用されます。





私たちもウッドチェンジ!

森林の循環を助け、森林を守るために私たちが
できることは、生活に木を取り入れることです。
実際に木製品を利用していらっしゃる皆さんに、木なら
ではの魅力を伺いました。

.....
ウッド・チェンジとは、
林野庁が提唱する、身の
回りのものを木に変える、
建築物を木造・木質
化することです。木の利
用を通じて持続可能な社
会につながります。
.....

木の家具の温かさ

中学校の教師をしていたときに、学校の内装や
机などが木に一新されました。木に触れていく
うちに、木の温かさや優しさにどんどん惹かれて
いき、木の家具を持ちたいと思うようになりました。

退職後、桜の木のテーブルと杉の椅子をダイ
ニングに置きました。椅子は丸みがあって、包み込
まれるような感じがして、とても座り心地がいい
です。いつか、大きめの木製の
ロッキングチェアも買って、さ
らにゆったりとした時間を過
ごしたいです。



やすし
新行 靖さん



寝るとき以外は

ほとんどここで過ごしているくらい

気に入っています

居心地がいい家

飾らず、気を使わない家に住みたいという思いから、家
を建てるときには紀州材をできるだけ加工せずに使いま
した。床に付いた傷は、時間が経つにつれて、それも味わい
になって家も家族と一緒に育っているように感じます。

また、最初は木の香りが心地よく、家にいるだけで森林
浴をしているようでした。建って6年になる今でも、家
に来た人からは木の香りがいいと言ってくれます。

木に包まれた生活はとても居心地がいいです。



紀州材の曲げわっぱ弁当箱

ころんとかわいい

右から 谷本 穂乃香さん
メイシー・リー・ワナーさん

わっぱ弁当で ごはんが美味しい!

木製のものが好きな私に、母が持たせ
てくれたわっぱ弁当箱。ふたを開けると
木の香りがするし、見るだけでも美味し
そうに感じます。白いご飯がべちゃっ
としていなくて美味しいのは、このわっぱ
弁当箱のおかげかも。

お昼からの授業も頑張れます。



家中の棚やテーブルなども

作ってもらいました



中島 さよさん



たかし
迫平 隆志さん

地元の木を使うことは
地元の産業を支えます

この地方では主にスギやヒノキ
などの針葉樹を、苗木の時は草刈
りをし、木が育つと間伐するなど
して、まっすぐな木になるように
育てられてきました。
約50年もの間、人の手をしっか
りかけることで、年輪が詰まって
強度や耐久性があり、国内でも高
品質な木材となりました。それら
が紀州材と呼ばれています。
ぜひ自分たちの身近なものから、
少しずつ木に変えてみませんか。



▲ 紀州材製品を
扱う木工所を紹
介しています

木を使うことが森林を元気に
育てた木を収穫(伐採)して、
使い、新たに植えて育てるサイク
ルは、元気な森林を作ることに
つながり、環境にも私たちの生活
にも影響します。また、私たち
が木材を積極的に利用することは、
森林を守ることと同時に森林の
産業を守ることもつながります。

木は私たちの生活を快適にする
木は気持ちいいものだと感じる
のは科学的な理由があります。木
の細胞は空洞になっているため、
調湿作用や断熱作用があるので、
梅雨の時期はさらっとし、冬に
触ると温かく感じます。また、
香りにはリラックス効果があり、
木のある空間の中では気持ちが
穏やかになります。

身近なものを
木に変えてみませんか

木の魅力について、木育イン
ストラクターの迫平さんにお話
を伺いました。